

平成23年5月30日（月）
愛知芸術文化センター愛知県美術館
担当：古田・森
電話：052-971-5511 内線 320
県民生活部文化芸術課振興グループ
担当：陣内・岡田
県庁内線：2459・2460
電話：052-954-6183

愛知県美術館における東北復興支援特別企画 「棟方志功 祈りと旅」展（仮称）の開催について

愛知県美術館で7月に開催を予定していた企画展「プーシキン美術館展 フランス絵画300年」については、東日本大震災の影響により中止することとしましたが、東北復興支援特別企画として下記のとおり展覧会を開催します。

記

1 名称

東北復興支援特別企画「棟方志功 祈りと旅」展（仮称）

2 期間

平成23年7月9日（土）から9月4日（日）

3 会場

愛知県美術館（愛知芸術文化センター10階）

4 主催

愛知県美術館、朝日新聞社ほか

5 概要

被災地東北へ想いを寄せる意味からも、東北出身の版画家で、ヴェネチア・ビエンナーレの版画部門のグランプリを受賞するなど海外でも評価の高い棟方を取り上げます。

今回の展覧会は、その初期からサンパウロ・ビエンナーレでの版画部門の最高賞を得た《釈迦十大弟子》や青森、岩手、宮城など故郷東北を題材とした版画作品、そして直筆の倭絵（※）や書など文人的な性格の作品まで、棟方の全体像を「祈りと旅」と題して紹介します。

※倭絵（やまとえ）…平安時代以来の日本の伝統的な絵画様式

6 その他

愛知県に避難された被災者の方は、無料でご覧いただけます。また、ポストカードなどをチャリティー・グッズとして販売し、その収益金を、復興支援として被災地に寄付させていただきます。

<参考>棟方志功略歴

- 明治 36 (1903) 年 青森県の鍛冶屋の三男として生まれる。雑誌『白樺』に掲載されていたゴッホの《ひまわり》に触発され画家を志す。
- 昭和 13 (1938) 年 「勝鬘譜善知鳥版画曼荼羅 (しょうまんふうとうはんがまんだら)」にて版画で初めて官展で特選を獲得。「版画」を「板画 (はんが)」と称し、作品ひとつひとつを「柵 (さく)」という言葉で表しながら、様々な主題に取り組んだ。
- 昭和 30 (1955) 年 サンパウロ・ビエンナーレで日本人として初めて版画部門の最高賞を受賞し、国外でも高い評価を得る。
- 昭和 31 (1956) 年 ヴェネツィア・ビエンナーレでも日本人として初めて版画部門最高賞を受賞。
- 昭和 35 (1960) 年 長く患っていた眼病が悪化し左眼を失明するも、旺盛な創作意欲は衰えず次々と作品を発表する。
- 昭和 45 (1970) 年 文化勲章受章。
- 昭和 50 (1975) 年 逝去。享年 72 歳。

<参考>棟方志功の作品（一部）



「鐘溪頌（しょうけいしょう）」
より「若栗の柵」
昭和20年／昭和44年摺



「二菩薩釈迦十大弟子（にぼさつしゃかじゅうだいでし）」
昭和14年／昭和23年一部改刻/
昭和42年摺



「富士山図・風然頌」
昭和41年



「飛神（とびがみ）の柵
（御志羅（おしら）の柵）」
昭和43年

<参考>「棟方志功 祈りと旅」展 これまでの巡回状況

期 間	美術館名
平成22年6月12日（土）～8月15日（日）	山口県立萩美術館・浦上記念館
9月15日（水）～9月27日（月）	大丸ミュージアム KYOTO
平成23年2月11日（金）～3月27日（日）	静岡市美術館
4月 9日（土）～5月15日（日）	香川県立ミュージアム
5月26日（木）～7月 3日（日）	福岡県立美術館

